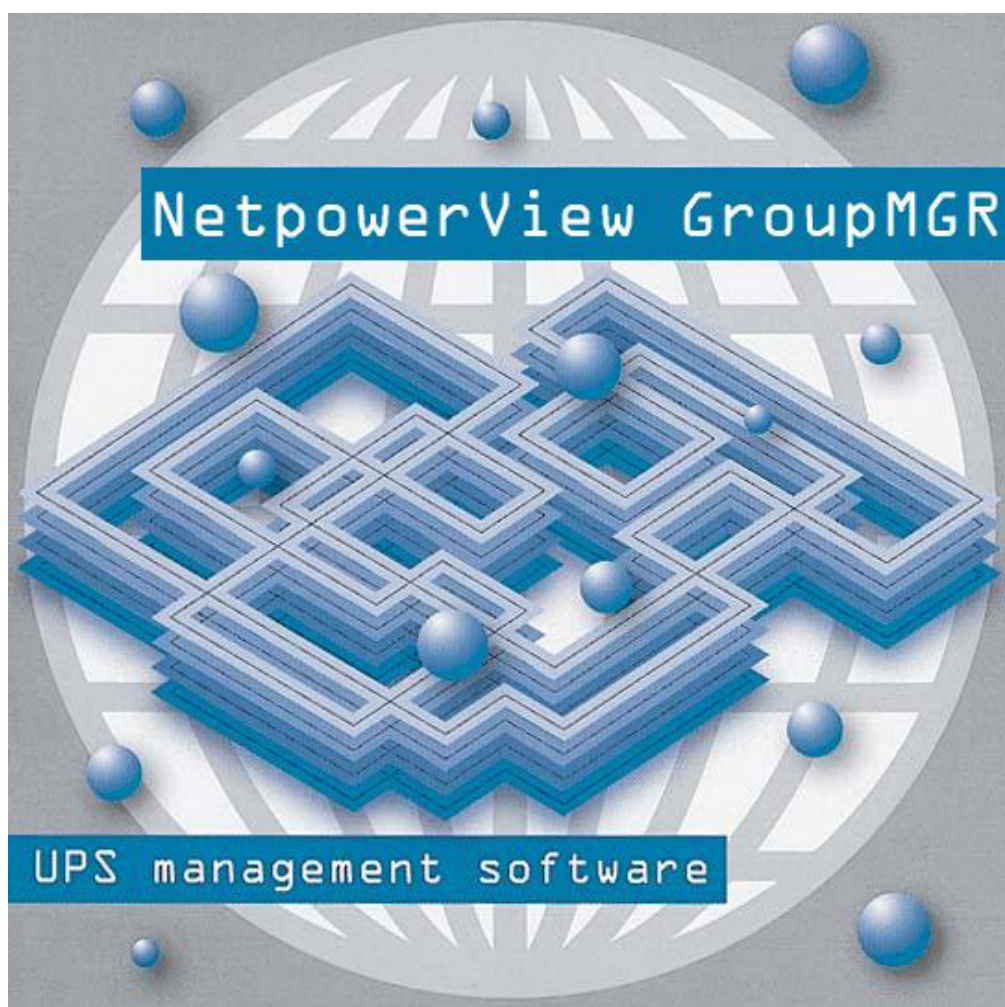




UPS統合管理プログラム



NetpowerView GroupMGR

インストール・ガイド

ハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないで下さい。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談下さい。

使用許諾条項

本製品をご使用になる前に、下記の使用条件をよくお読み下さい。

ご使用になられた時点で、下記使用条件に同意して富士電機機器制御株式会社(以下富士電機といいます。)との間で契約が成立したものとさせていただきます。

1. 本製品およびその複製物に関する権利はその内容により富士電機または富士電機への提供者に帰属します。
2. 富士電機は、本製品のユーザ(以下ユーザといいます。)に対し、本製品に対応する富士電機製品を利用する目的で本製品を使用する非独占的権利を許諾します。
3. 富士電機および富士電機への提供者は、本製品がユーザの特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または本製品に瑕疵がないこと、その他製品に関していかなる保証もいたしません。
4. 富士電機および富士電機への提供者は、本製品の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負いません。
5. 本製品の使用による金銭上の損害、損失利益につきましては一切その責任を負いません。
6. 本製品の誤記等により生じた損害及び付随的損害については一切その責任を負いません。
7. ユーザは、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、本製品の全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。
8. 富士電機は、本製品について第三者からなされるいかなる権利主張に対しても一切その責任を負いません。
9. ユーザが、本契約に違反した場合には、本契約は直ちに終了するものとします。本契約の終了後は、ユーザは、本製品を使用してはいけません。
10. 富士電機は、改良のため、本製品の内容を予告なく変更することがあります。

目次

第 1 章 システム概要	3
1.1. 対応 UPS と UPS 管理プログラム	3
1.2. ハードウェア	3
1.3. ソフトウェア	3
第 2 章 NetpowerView GroupMGR の概要	4
2.1. 特徴	4
2.2. システム構成	4
第 3 章 インストール	6
第 4 章 アンインストール	12
第 5 章 電子マニュアル 保存先	14

商標・登録商標について

- Microsoft, Windows, Windows 98, Windows Me, Windows NT, Windows 2000, Windows XP, Windows Server 2003, は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Pentium は、米国インテル社の登録商標です。
- APC は、American Power Conversion Corporation の登録商標です。
- その他、本マニュアルに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
- また、本文中では、TM, (R), ® マークは明記しておりません。

略称名称について

- Windows 98 の正式名称は、Microsoft(R) Windows(R)98 Operating System です。
- Windows Me の正式名称は、Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition Operating System です。
- Windows NT の正式名称は、Microsoft(R) Windows(R) NT Sever network operating system です。
- Windows 2000 の正式名称は、Microsoft(R) Windows(R)2000 Professional operating system または、Microsoft(R) Windows(R)2000 Server operating system または、Microsoft(R) Windows(R)2000 Advanced Server operating system です。
- Windows XP の正式名称は、Microsoft(R) Windows(R) XP Operating System です。
- Windows Server 2003 の正式名称は、Microsoft(R) Windows Server ™ 2003 Operating system です。

第1章 システム概要

1.1. 対応 UPS と UPS 管理プログラム

NetpowerView GroupMGRに対応する無停電電源装置(UPS)とUPS 管理プログラムを以下に示します。

- NetpowerProtect シリーズ + NetpowerView F (UPS 管理プログラム)
- NetpowerProtect シリーズ + Web/SNMP カード
- J シリーズ + Web/SNMP カード
- 他社製UPS + 他社製カード
(本ソフトで監視できる他社製UPS と 他社製カードとは、
APC 社製のUPS と Network Management Card EX を示します。)

1.2. ハードウェア

NetpowerView GroupMGRを使用するには、以下のハードウェアが必要になります。

- IBM PC-AT 互換機(Pentium 200MHz 以上)
- ハードディスクの容量:100MB以上
- メモリ:64MB 以上
- 推奨画面:サイズ 1024×768 ピクセル

1.3. ソフトウェア

NetpowerView GroupMGRはデータ収集と UPSView で構成され、それぞれ以下のオペレーティングシステムに対応しています。

- データ収集(複数の UPS の情報を収集するソフトウェア)
 - Windows NT 4.0 SP6 以上
 - Windows 2000 SP4 以上
 - Windows XP
 - Windows Server 2003
- UPSView(複数の UPS の状態表示／設定を行うソフトウェア)
 - Windows 98 ,Windows Me
 - Windows NT 4.0 SP6 以上
 - Windows 2000 SP4 以上
 - Windows XP
 - Windows Server 2003

また、以下のネットワークプロトコルがセットアップされていることが必要です。

- TCP/IP

第2章 NetpowerView GroupMGRの概要

NetpowerView GroupMGR はデータ収集と UPSView で構成され、複数の無停電電源装置 (UPS) の状態を一括して監視することが可能です。更に、スケジュール設定、シャットダウンの操作を一括して実行できます。

2.1. 特徴

1. ネットワーク経由で最大25台の UPS を一覧監視し、運転状態やバッテリー寿命を一覧表に表示します。
2. NetpowerProtect シリーズや J シリーズの他、他社製 UPS も監視できます。
3. UPS グループを作成し、グループ内の UPS を同じスケジュールで運転することが簡単にできます。(NetpowerView F 使用時)
4. UPS に接続されたサーバやルータをツリー構造で示すため、UPS の ON/OFF による影響範囲がすぐにわかります。
5. 多くの機器が接続されたネットワークの中から、管理対象 UPS の検索・登録が簡単にできます。
6. ユーザ毎に監視対象の UPS を登録できます。

2.2. システム構成

NetpowerView GroupMGR のシステムは、以下のプログラムから構成されます。

[UPSView]	データ収集から UPS の情報を獲得し、表示します。 更に、NetpowerView GroupMGR ビューから一括してスケジュール設定を行えます。
[データ収集]	データ収集は、複数の UPS エージェントから UPS の情報を収集するプログラムです。 サービスとして動作するので表には出てきません。 サービス名称は、UPSDatasever です。 ポートは、49152 を開いて UPSView の接続を待ちます。
[UPS エージェント]	UPS と通信を行い、UPS の監視を行うソフトウェアです。 UPS エージェントには、以下の3つがあります。 <ul style="list-style-type: none">・ UPS 管理プログラム (UPSMAN)・ Web/SNMP カード・ 他社製カード
[UPS 管理プログラム]	NetpowerView F の UPS 管理プログラム (UPSMAN) です。 このプログラムは、UPS (NetpowerProtect) と通信を行い、UPS の状態を監視します。
[Web/SNMP カード]	UPS 本体に装着して UPS の管理を行うカードです。
[他社製カード]	UPS 本体に装着して UPS の管理を行う他社製のカードです。

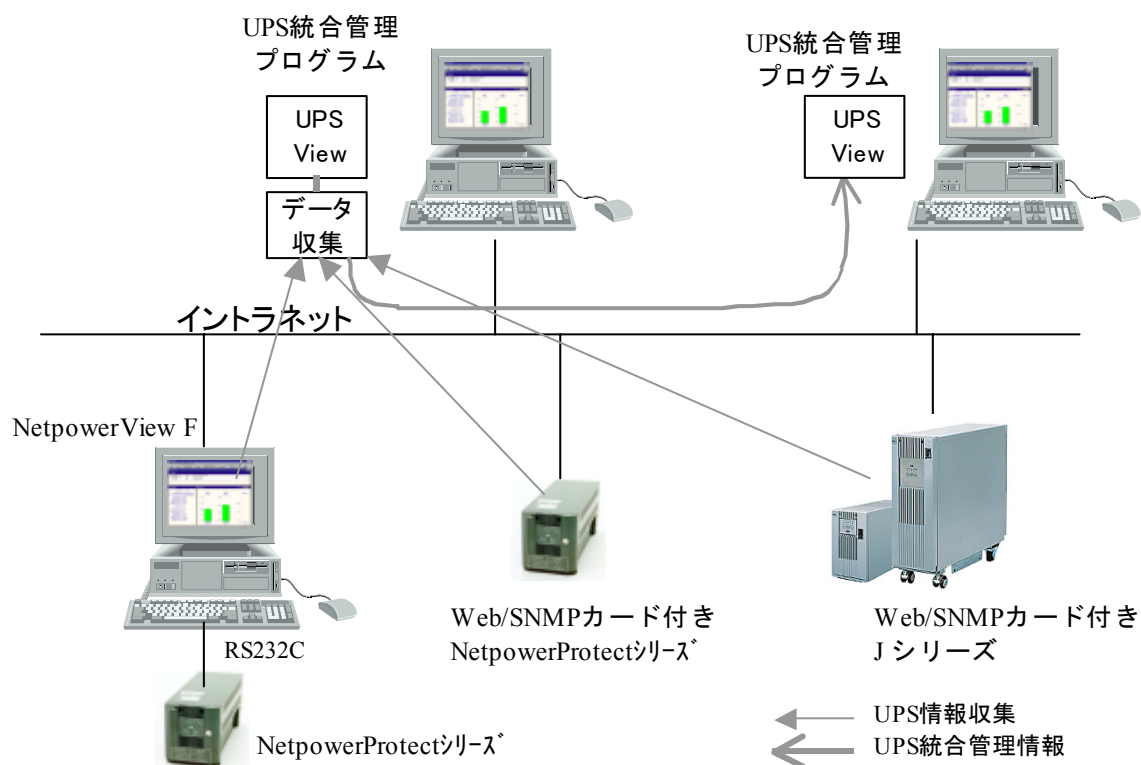


図 1 システム構成例

NetpowerView GroupMGRに対応する無停電電源装置(UPS)とUPS 管理プログラムを以下に示します。

- NetpowerProtect シリーズ + NetpowerView F(UPS 管理プログラム)
- NetpowerProtect シリーズ + Web/SNMP カード
- J シリーズ + Web/SNMP カード
- 他社製UPS + 他社製カード

重要
<ul style="list-style-type: none"> ・ Web/SNMP カード、他社製カードに対しては、スケジュール設定を実行できません。 ・ UPS 管理プログラムのシャットダウンには、UPS 管理プログラム V5.0 以降が必要です。 ・ 他社製カードに対しては、シャットダウンを実行できません。 ・ 本ソフトで監視できる他社製UPS と 他社製カードとは、APC 社製のUPS と Network Management Card EX を示します。

第3章 インストール

重要

- ・ インストールの前に、現在動作させているアプリケーションをすべて終了させて下さい。
- ・ administrator 権限のあるユーザで、Windows システムにログオンして、インストールを実行して下さい。
- ・ NetpowerView GroupMGR がすでにインストールされている場合は、一度アンインストールをしてからインストールを行って下さい。アンインストールの方法は“第 4 章 アンインストール”を参照して下さい。
- ・ WindowsNT マシンの場合、SNMP サービスがインストールされている必要があります。
(ネットワークサービスに SNMP サービスを追加してください。又、この時、SNMP サービスは起動しなくても構いません。)

1) NetpowerView GroupMGR の CD をセットし、CD-ROM の“winsetup¥setup.exe”を実行してください。

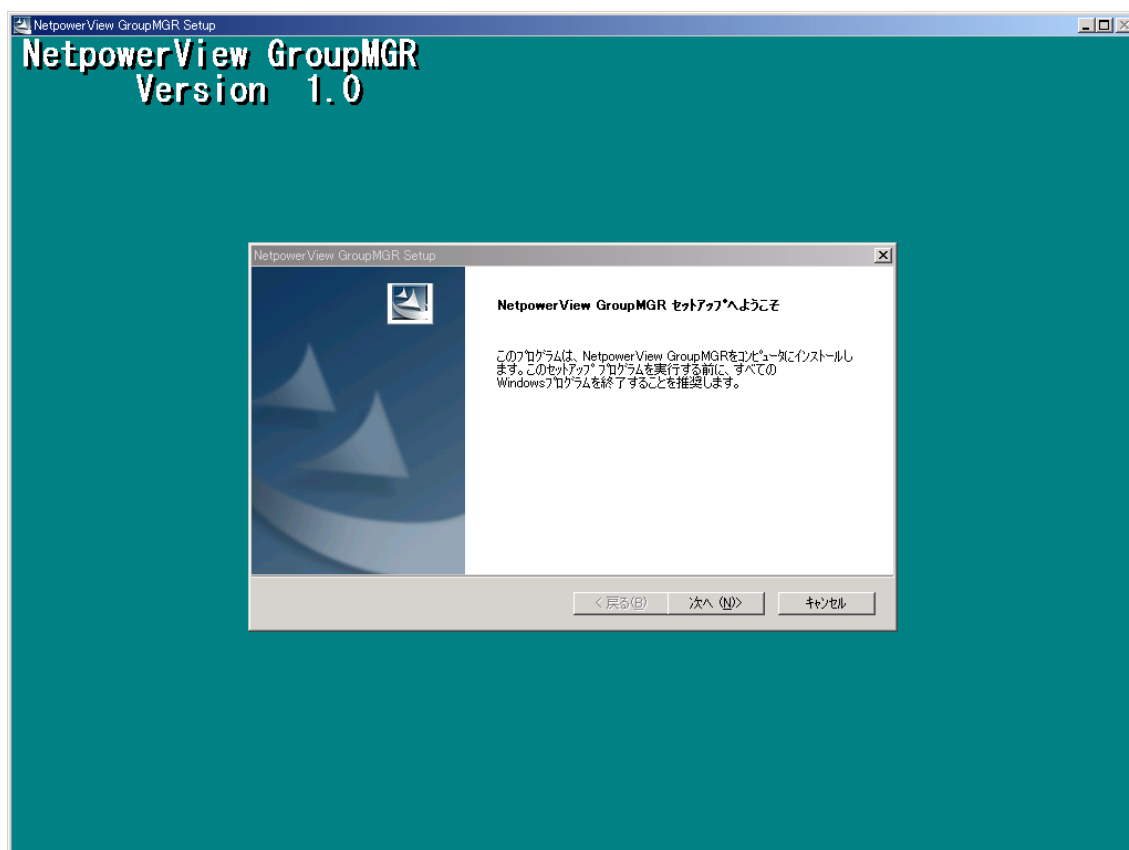


図 2 セットアップ画面

[NetpowerView GroupMGR Setup]ダイアログが表示されます。
内容を確認の上[次へ(N)]をクリックします。

- 2) [使用許諾契約]ダイアログが表示されます。

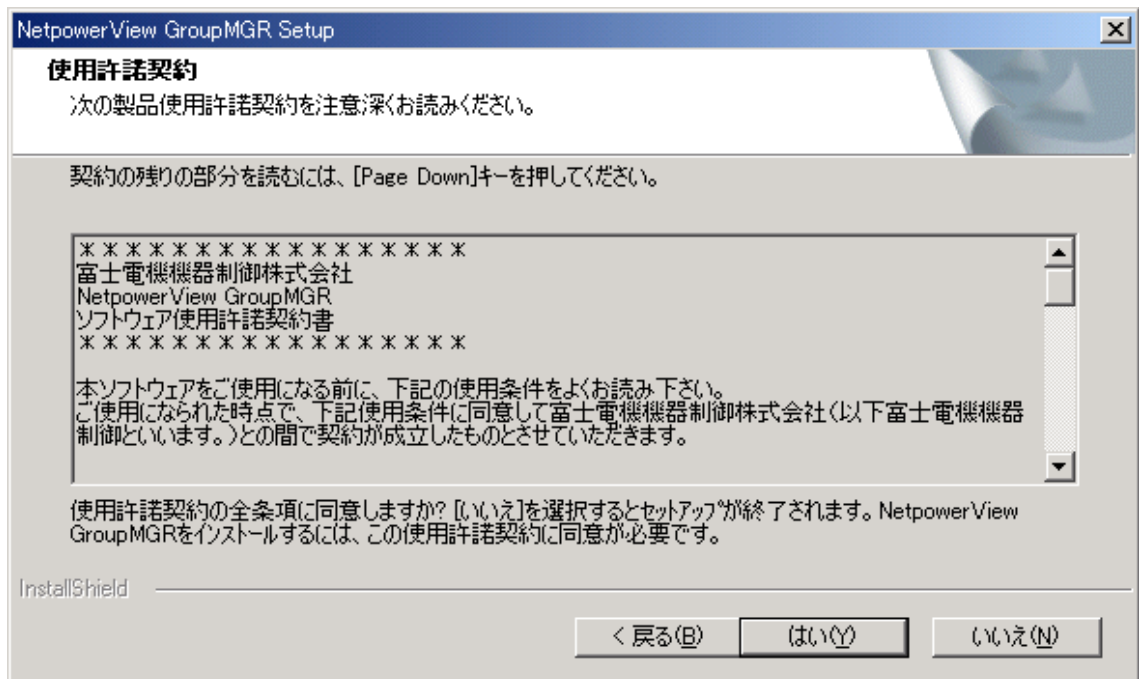


図 3 使用許諾契約画面

契約内容に同意する場合は[はい(Y)]をクリックします。

- 3) [ライセンスキー情報]ダイアログが表示されます。

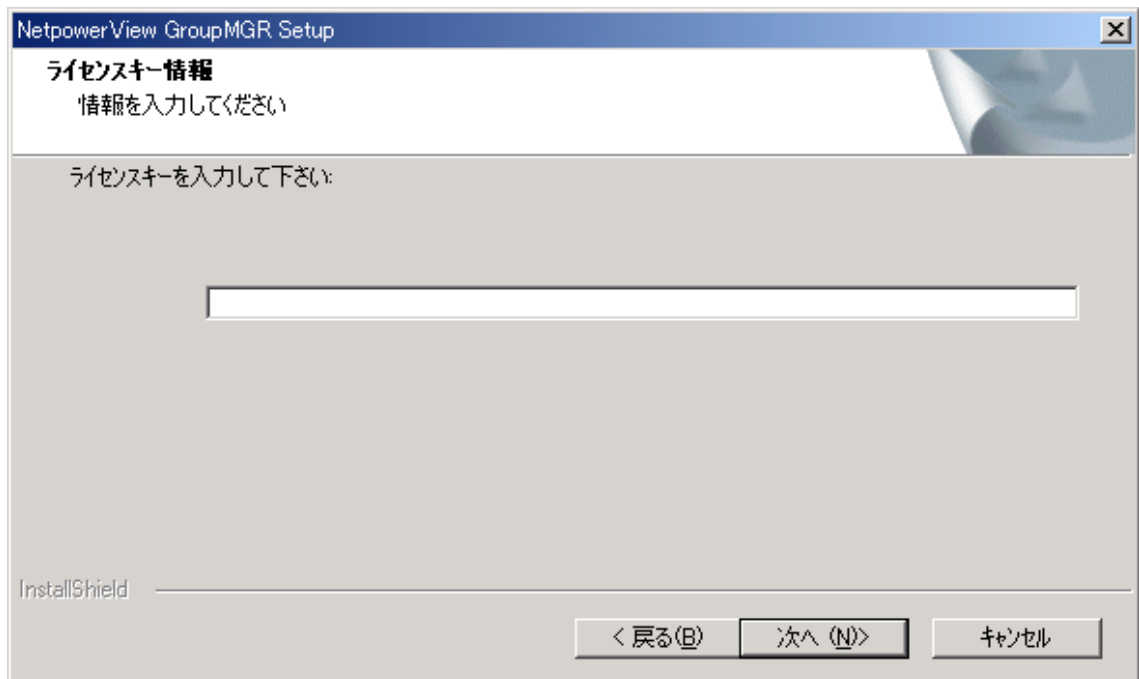


図 4 ライセンスキー入力画面

ライセンスキーを入力し[次へ(N)]をクリックします。

4) ライセンスキーが異なる場合は、[問い合わせ]ダイアログが表示されます。



図 5 ライセンスキー確認画面

重要
<ul style="list-style-type: none">・ 正確に大文字、小文字を区別して入力して下さい。・ ライセンスキーは、NetpowerView GroupMGR の CD に同封されている“本ソフトウェアに関するお問合せ先”のカードに記載されています。・ ライセンスキーが正しく入力されない場合は、試用版での運用(UPS の登録台数:5 台)となります。

5) [インストール先の選択]ダイアログが表示されます。

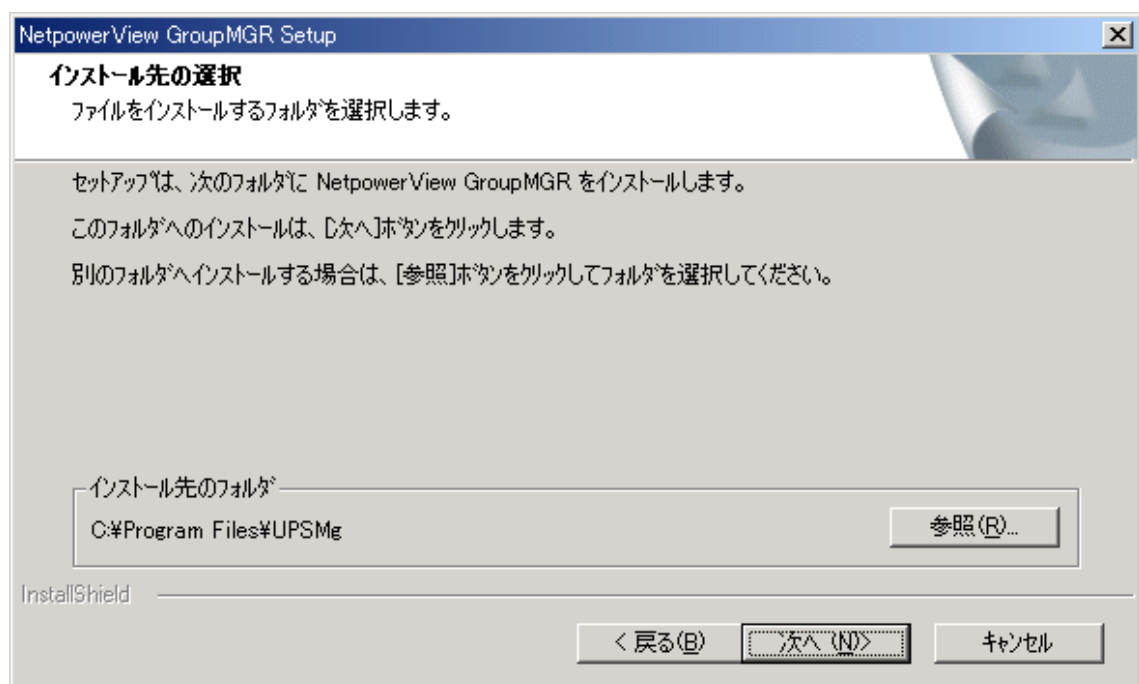


図 6 インストール先の選択画面

デフォルトでは“C:\Program Files\UPSMg”となっています。

インストール先を変更したい場合には[参照(R)]をクリックして下さい。

(フォルダ名は半角64文字まで指定できます。)

インストール先のフォルダを決定したら[次へ(N)]をクリックします。

6) [コンポーネントの選択]ダイアログが表示されます。

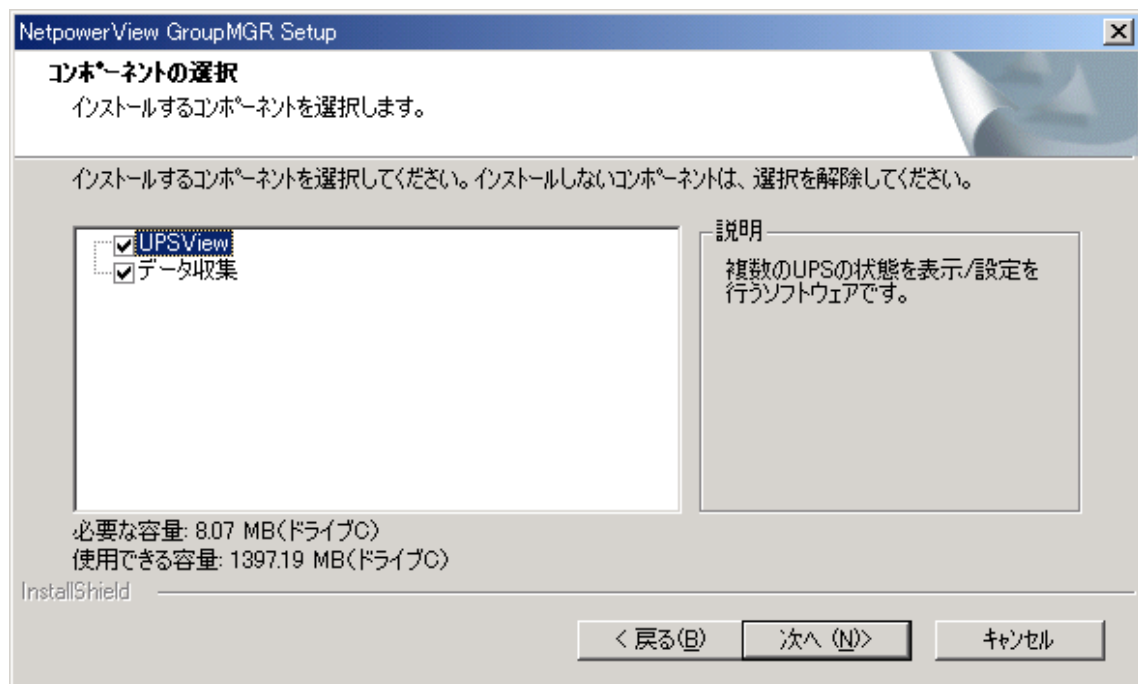


図 7 コンポーネントの選択画面

インストールするコンポーネントを選択、インストールしないコンポーネントのチェックをクリアし
[次へ(N)]をクリックします。

UPSView : 複数の UPS の状態表示／設定を行うソフトウェアです。

データ収集: UPS エージェント (NetpowerView F、Web/SNMP カード、他社製カード) から
UPS の情報を収集するソフトウェアです。

重要
<ul style="list-style-type: none">・ Windows 98, Windows Me には、UPSView のみインストールできます。 ([コンポーネントの選択]ダイアログにデータ収集のコンポーネントは表示されません。)

7) [プログラムフォルダの選択]ダイアログが表示されます。

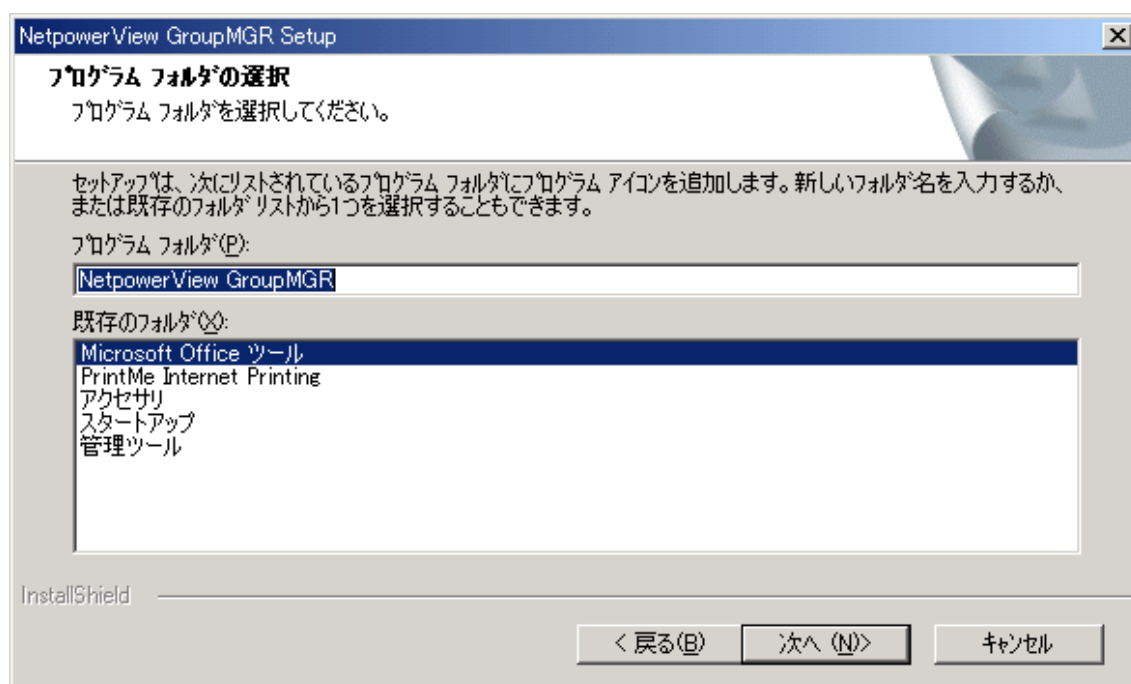


図 8 プログラムフォルダの選択画面

[スタート]メニューに追加するプログラムフォルダ(または既存のフォルダ)を指定し、[次へ(N)]をクリックします。

重要

- ・ デフォルトでは、[NetpowerView GroupMGR]→[UPSView]が登録されます。
- ・ データ収集のみをインストールした場合は、プログラムフォルダは作成されません。

8) [ファイルコピーの開始]ダイアログが表示されます。

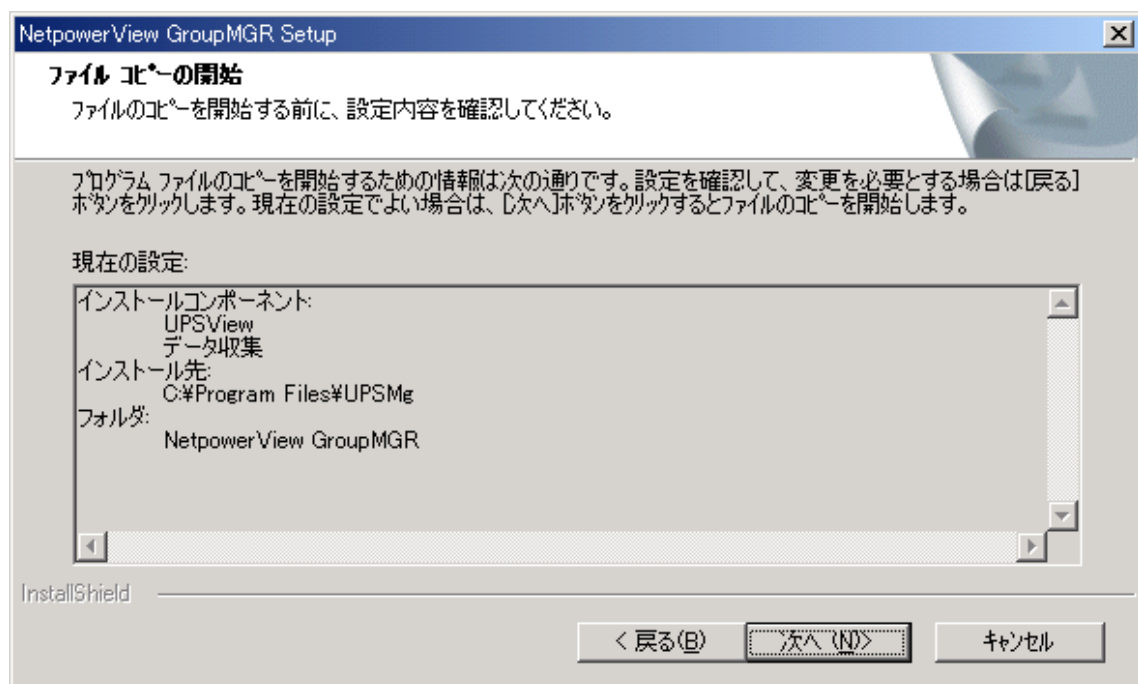


図 9 ファイルコピーの開始画面

“現在の設定”を確認の上[次へ(N)]をクリックします。ここで、インストールが開始されます。

9) [InstallShield Wizardの完了]ダイアログが表示されます。

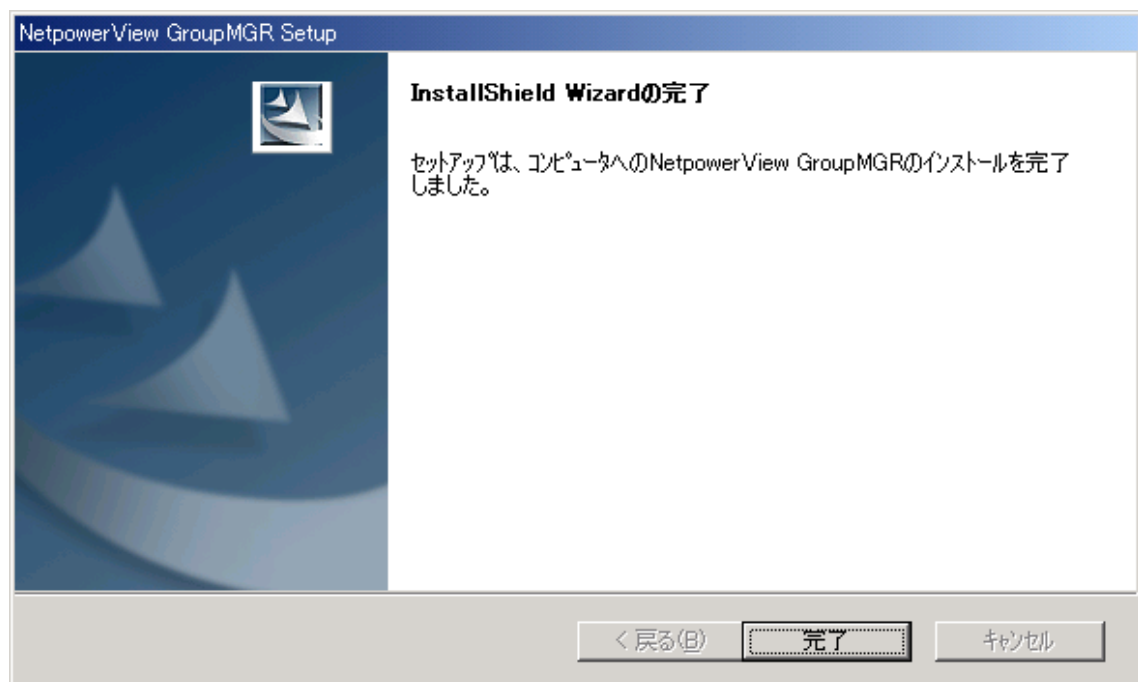


図 10 インストール完了画面

[完了]をクリックします。これで NetpowerView GroupMGR のインストールは完了です。

第4章 アンインストール

- 1) [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]から[NetpowerView GroupMGR]を選択します。



図 11 アプリケーションの追加と削除画面 (Windows 2000)

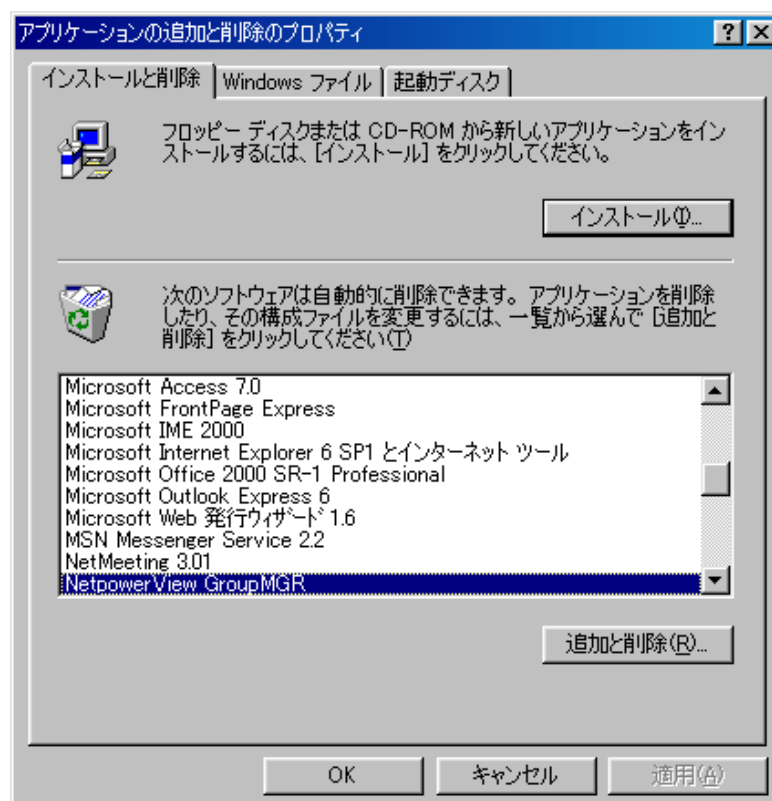


図 12 アプリケーションの追加と削除のプロパティ画面 (Windows 98)

NetpowerView GroupMGR の[変更と削除(C)]をクリックします。

(Windows 98 では[追加と削除(R)] をクリックします。)

2) [プログラムを変更、修正、または削除します。]ダイアログが表示されます。

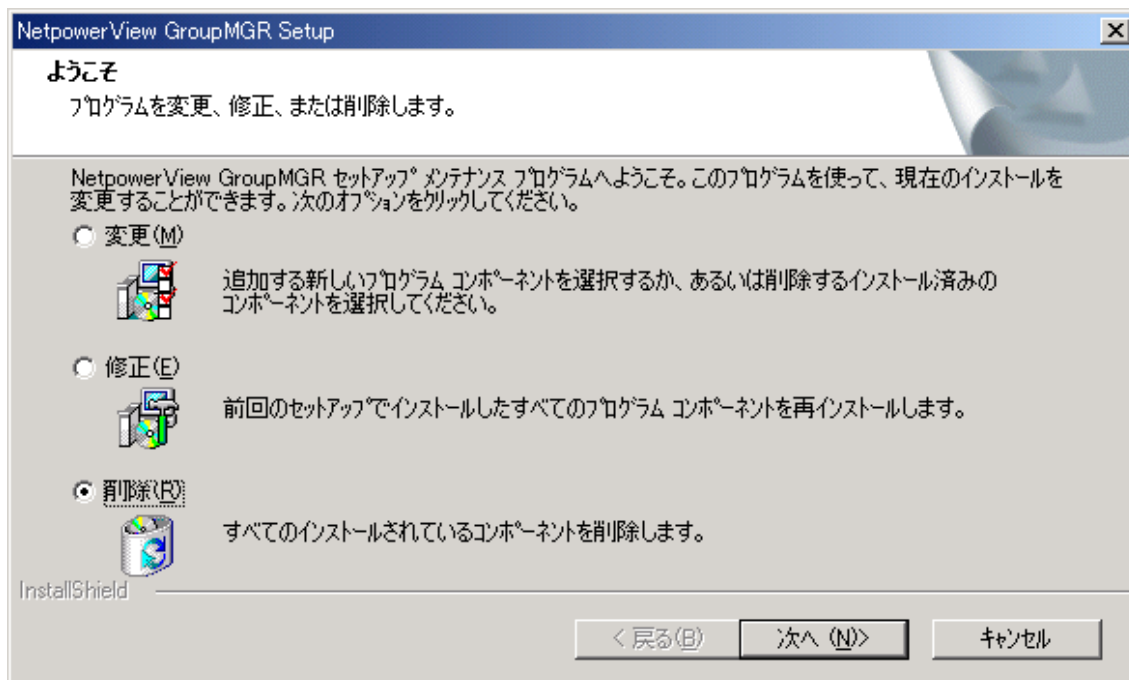


図 13 プログラムを変更、修正、または削除画面

[削除 (R)]を選択し[次へ (N)]をクリックします。

重要
<ul style="list-style-type: none">・ UPSView、又はデータ収集を追加、あるいは削除する場合は、[変更 (M)]を選択し[次へ (N)]をクリックして、コンポーネントを選択してください。・ 前回のセットアップでインストールしたコンポーネントを再インストールする場合は、[修正 (E)]を選択し[次へ (N)]をクリックしてください。

3) [選択したアプリケーション、およびすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?] ダイアログが表示されます。



図 14 アンインストール確認画面

[はい (Y)]をクリックします。ここで、アンインストールが開始されます。

4) [メンテナンスの完了]ダイアログが表示されます。

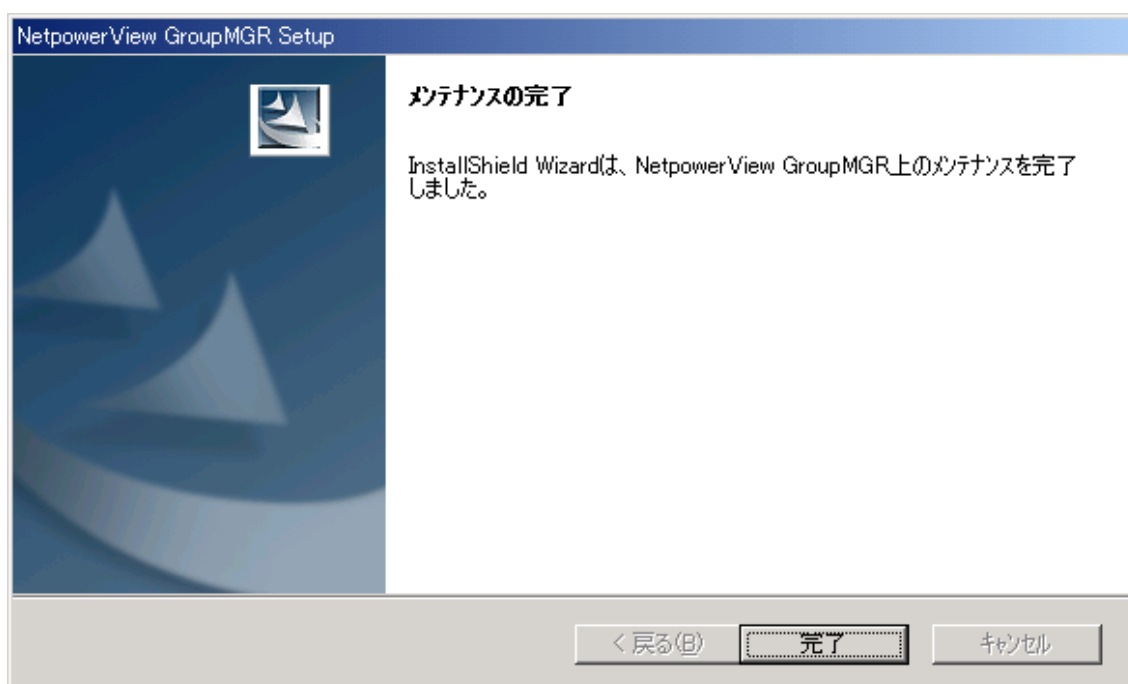


図 15 メンテナンスの完了画面

[完了]をクリックします。

これで NetpowerView GroupMGR のアンインストールは完了です。

第5章 電子マニュアル 保存先

1) NetpowerView GroupMGR インストール・ガイド

CD-ROM の ¥DOC¥インストール・ガイド.pdf を参照して下さい。

2) NetpowerView GroupMGR ユーザーズ・ガイド

CD-ROM の ¥DOC¥ユーザーズ・ガイド.pdf を参照して下さい。

Copyright (c) 2003 Fuji Electric FA Components & Systems Co., Ltd.
All rights reserved.

<http://www.fujielectric.co.jp/fcs/jpn/mups/>